

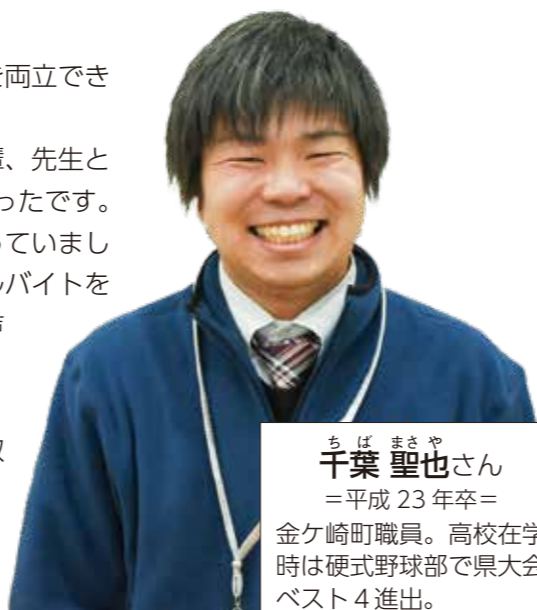
卒業生の声

中学生の頃、金ケ崎高校の野球部が強かったことと、勉強と部活を両立できると思い、金ケ崎高校に進学しました。

高校生活で特に印象に残っているのはクラスマッチです。先輩後輩、先生との仲が良かったので、お互い全力で戦い仲間と汗を流したのが楽しかったです。

所属していた野球部では、当時、毎年部員全員で甲子園観戦に行っていました。費用を捻出するために、部員全員で金ケ崎町にある郵便局でアルバイトをしたことが思い出に残っています。アルバイト中、町民の皆さんに声をかけてもらったり、温かく接してもらったことが印象に残っており、金ケ崎で働きたいと思うようになりました。

金ケ崎高校では、部活動後の自主練習をしてレギュラーをつかみ取るなど、コツコツと積み上げて努力することの大切さを学びました。



ちば まさや
千葉 聖也さん
=平成 23 年卒=
金ケ崎町職員。高校在学時は硬式野球部で県大会ベスト4 進出。

将来実践できる力を若いうちに

金ケ崎高校では、令和元年度から町の社会教育事業「ミライラボ事業」と連携して、町公認特別クラス「金ケ崎さいころクラス」の活動を行っています。

10月29日に行われたことし6回目の活動では、ドイツ発祥のボードゲーム「カタン」を参考にし、ゲーム内で使用する資源を金ケ崎町の資源に置き換えた町版のボードゲームの作成やカードゲーム「なんじゃもんじゃ」に取り組みました。

これらのゲームを通じて、生徒たちが楽しみながら課題解決や地域おこし、コミュニケーションなどの幅広い力を身につけることを目指しています。

ゲームで使用するボードゲームの駒など、みんなと協力して一つのものを作りました。将来の夢はまだ漠然としていますが、人を笑顔にする仕事がしたいと思っています。金ケ崎さいころクラスでは、ネットで探しても見つからないことを知れたり、いろいろな講師の先生からまちづくりに関する話を聞けて楽しいです。

まつもと ゆうな
松本 悠奈さん
= 2 年生 =



3年生にインタビュー

先生方が生徒一人一人にしっかりと勉強を教えてくださいます。勉強で分からないことを聞きに行っても先生が丁寧に教えてくれました。「朝の挨拶運動」を実施しており、挨拶が活発なのも特徴です。

ありすみ こなつ
有住小夏さん
=金ケ崎中卒=



金ケ崎高校は友人関係が恵まれています。勉強で分からないところがあったときは、先生のほか、友達にも聞くことができます。勉強ばかりでなく、部活との両立もできるのが金ケ崎高校の特徴です。

きちやま
橋山はるかさん
=金ケ崎中卒=



金ケ崎高校での3年間で忍耐力を身に付けることができました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で青陵祭の規模を縮小しましたが、先生方が3年生のためにジンギスカンのバーベキューを開いてくれました。

かとうけんしん
加藤健臣くん
=金ケ崎中卒=



これまで、人前に立つ経験が少なかったのですが、金ケ崎高校で部長や委員長を務め、人前に立つ経験を得ることができました。高校から新しく弓道を始めましたが、先輩が優しく教えてくれたので、楽しく活動できました。

あべりゅうき
阿部 龍季くん
=金ケ崎中卒=



金ケ崎高校では1つのことに専念してやりとげることができました。今、学校生活を振り返ると、放課後や部活動終わりの時間などに友人と話す何気ない会話が楽しく印象に残っています。

さきやまようへい
崎山陽平くん
=金ケ崎中卒=



金ケ崎高校の3年生に、学校の特徴や3年間の学校生活で印象に残っていることなどについてインタビューしました。